

境川浄化センターのしくみ

ポンプ棟

流入幹線は、地下深く流下してくるため、下水中に含まれるゴミ等をスクリーンで除去した後、ポンプで汲み上げます。

沈砂池

下水に含まれる重い土砂類を、沈降・除去します。

最初沈殿池

下水をゆっくり流して沈殿しやすい浮遊物質を池底に沈め、うわみずを反応タンクに送ります。沈殿した汚泥はポンプによって濃縮タンクに送られます。

反応タンク

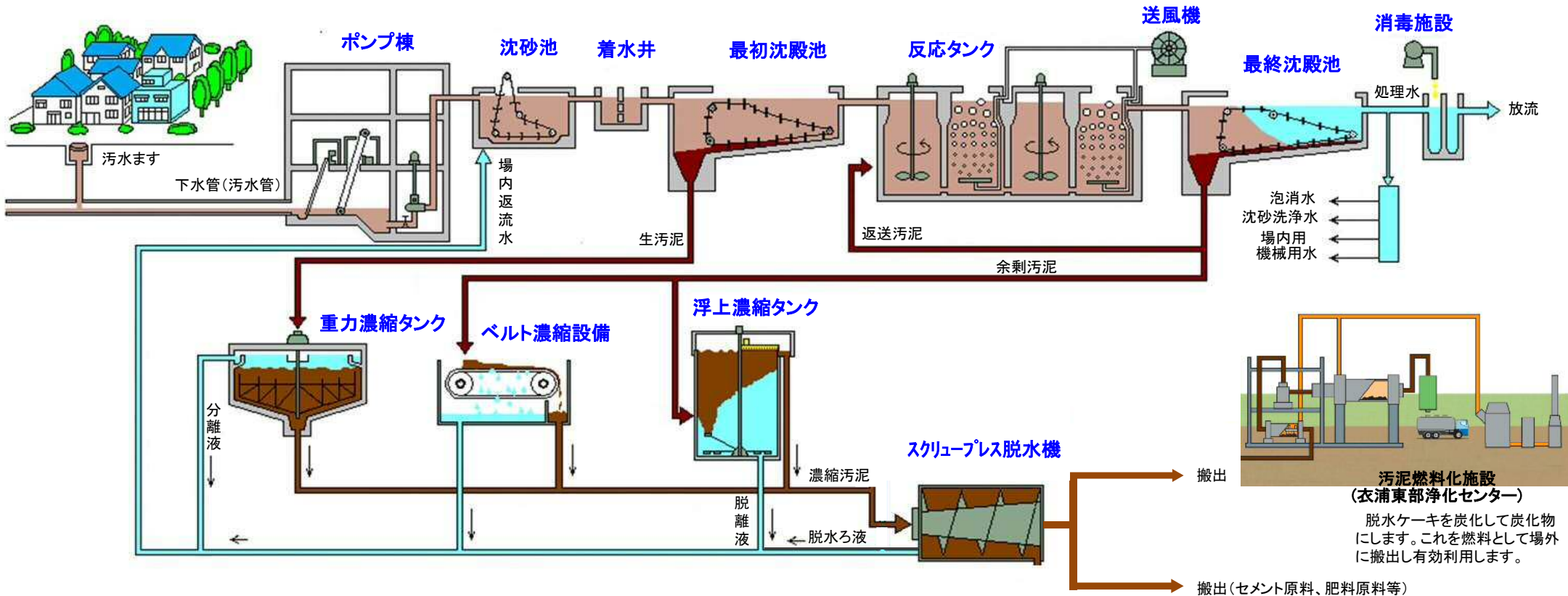
下水に最終沈殿池からの活性汚泥を加え、空気を吹き込みます。活性汚泥中の微生物は、下水中の有機物を栄養分として吸収・繁殖して沈殿しやすい“かたまり”になります。

最終沈殿池

下水をゆっくり流し、“かたまり”を池底に沈殿させます。沈殿汚泥の一部は反応槽に送られ、残りは濃縮施設に送られます。ここまでの処理で、下水はかなりきれいになります。

消毒施設

処理水に含まれる大腸菌などの細菌を消毒し、放流します。



重力濃縮タンク

水処理施設から送られてきた生汚泥を濃縮し、容量を減少させます。

ベルト濃縮設備

水処理施設から送られてきた余剰汚泥に凝集剤を加え、ベルト状のフィルタで濃縮します。

浮上濃縮タンク

水処理施設から送られてきた余剰汚泥に気泡を吸着させ、浮上させることにより、汚泥を濃縮します。

スクリュープレス脱水機

濃縮汚泥に凝集剤を加え、機械的に脱水します。これによって汚泥はケーキ状の固形物となります。

汚泥燃料化施設
(衣浦東部浄化センター)
脱水ケーキを炭化して炭化物にします。これを燃料として場外に搬出し有効利用します。